

令和8年度 大阪府立堺東高等学校 第1回学校運営協議会

令和8年7月17日（金）14:00

出席者 ・西川様（帝塚山学院大学学長）・染川様（立志館ゼミナール館長）
・浜田様（同窓会長）小坂様（本校PTA会長）
山本（本校学校長）・荒木（本校教頭）・西本（本校首席）

1. 学校長より
2. 委員長、副委員長の確認（委員長：西川様 副委員長：品川様）
3. 自己紹介
4. 学校経営計画について

目指す生徒像の確認：夢に向かってチャレンジする生徒の育成

進路：昨年度は95%が進学

近畿大学に看護学部が新設 本校からも複数名進学した

部活動 28クラブ 加入率66.6%（5月1日現在）

→1年生が5月以降に入部する生徒も多く、実質もう少し高くなる

設備・制度 トイレ様式100% 食堂空調工事（夏に実施予定）

NZ姉妹校締結 10名が語学研修に参加（7月末～10日間）

強化領域 ①府立学校改革アクションプラン→魅力ある講座

②Beyond EXPO 2025 →探求・AI・DXの強化

魅力ある講座 京都大学大学院西岡教授提唱『生きる教育』を講座に取り入れるべく計画中

DX指定校3年目 「情報Ⅱ」が開講 引き続き帝塚山学院大学のご助言をいただきながら進めていく

AI 教職員研修、小論文指導、広報AIモデル校 など今年度もAIの浸透を図る

探求（アントレプレナーシップ） 大阪人間科学大学の指導を仰ぎ、細やかな指導を続けていく

生徒の活動 ・「公式キャラクター」誕生

→3年生の生徒が探求活動の中で生み出したキャラクターが公式化

- ・「ハイスクールマンザイ」準決勝進出
- ・「ダンス部」が今年も全国大会に進出

広報戦略	2024	WEBサイトリニューアル
		公式Instagramの開設
	2025	生徒作成動画をYouTubeにて公開
		公式プロモーションビデオ公開
最新2026		公式Instagram等の運営に外部WEBデザイナーと契約
		公式LINEの開設

5. 委員の皆様より

- 委員 1 ・いろいろな取組をされているんだということがよくわかった。
 ・教員も勉強会を開きながら挑戦しているんだ、と積極的に発信してもいいのではないかな。
- 委員 2 ・中学生は遠くに行きたがらなく、自転車でいける範囲を選ぶ傾向。
 ・高校教員から良いことを聞くより、卒業生から聞くほうが需要はある。
- 委員 3 ・大学でも同様に在校生や卒業生の話の方が効果は高いと感じている。
 ・魅力ある授業として新しい取り組み後の変化を追跡してはどうか。
 ・様々な生徒の活躍を見ると、アントレプレナーシップの成果が現れているようで
 おもしろい。生徒の活躍に周りが刺激を受けて広がっていきそうでとても良い。
- 委員 4 ・トイレ工事の着工スケジュールの詳細が知りたい。
 →トイレは学校を選ぶ大きな基準になる。今後も重要視してほしい。
 →トイレにカバンかけがないのが不便。
- 委員 1 ・高校を選ぶ基準は、できれば近くて良い学校。
 ・高等部の生徒が先生へ質問しなくなっており、多くがAIに移行している。
- 学校長 ・AIの利用は避けられないが、AIに主導権を与えないことが大事。
 ハルシネーションに気をつけて一緒に共存していかなければならない。
- 委員 3 ・大学でもAIの利用率は高い。レポート課題は多くがAIを利用している。
 ・志望理由書は皆AIと言ってもいいくらい当たり前に浸透している。
 ・中学生が近場を選ぶ理由は？
 →（委員 1）お金と時間。
- 教 頭より ・お金を重視する反面、私学志向が高まる理由は？

→（委員1）私学に必要な授業料以外の費用を知らない場合もあれば、とにかく近くて良い学校という理由も大きい。地元の良い私学があればそちらに流れる傾向が強い。

・進路の決定権は親か子供か？

→（委員1）子供、親、中学校、塾の4者に分類される

委員4 ・活発な部活動や突出した魅力をさらに発信していくのが良いのではないかな
生徒発信の仕組みがあっても良い。

次回第2回は11月20日を予定